

■大阪サイエンスデイ

大阪のSSH校が年1回集まって、研究発表などで交流する第9回大阪サイエンスデイ(大阪府教育委員会主催)が、今年は10月22日(土)に開催されました。本校からも午前中に行なわれた各校の代表発表(於 エル大阪)で数学1班が発表し、「科学探究基礎」を受講している1年生(約40人)が参加しました。午後は大阪府立天王寺高校に会場を移して、分科会(口頭発表)とポスター発表等がありました。本校生は、以下の発表を行うとともに、第一分科会の司会運営を担当しました。

<午前の部：SSH生徒研究発表会I部>

3年数学1班「完全方陣」

<午後の部：II部 分科会口頭発表>

3年化学班「炎色反応を利用したろうそくの作成」

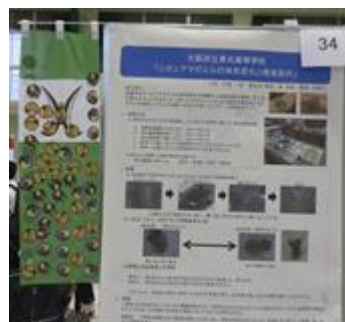
<ポスター発表>

2年生物2班「カエルの体色変化」

サイエンス部「ビオトープ池のプランクトンの変化」

サイエンス部「SSHオーストラリア海外研修報告」

サイエンス部「ボルネオ研修」



生物2班のポスターには、天晴れマークがたくさ

●第一部(午前)研究発表会に参加して

僕はサイエンスデイ午前の部に行き大変刺激を受けた。普段考えもしないことやためになることが聴けたからだ。その他にも、発表の仕方や自分が参考にできる点が数多くあり参加してよかったと思う。SSHの生徒の研究成果の発表は興味を引く内容が多く高校生がこんなにも凄い研究をしているのかと思うと自分も頑張ろうと思う気持ちが増した。オープニングで動物学がご専門の京都大学の村山美穂教授の話を聴いて、一つのことを追究する面白さと辛さが身に染みるように伝わってきた。自分も切磋琢磨して課題研究を頑張っていきたいと思った。このイベントに参加して僕は科学に対する興味と関心が一層増した有意義な一日になったと思います。(サイエンス部 前田祥)



●第二部(午後)の分科会の司会・運営を担当して

私は、10月22日に行われたサイエンスデイに司会として参加しました。サイエンスデイとは、今年で第9回目となる、大阪のSSH校を中心に京都・兵庫・奈良など他府県からも理科・数学教育に力を注いでいる学校が多く集まり、課題研究の発表会を行うものでした。

私が司会を担当したのは、化学の発表を行う会場でした。今回は高槻高校、四天王寺羽曳丘高等学校、泉北高校など、5つの高校が発表を行いました。どの高校の発表も興味深く、とても面白いものでした。その中でも、記憶に残っているのは、高校生の発表ではなく、大学の先生からの講評でした。今回の発表では、高校生が課題研究の発表をしたあとに、その発表について大学の先生にご講評を頂く、という形式で行われました。その講評はどれも辛辣で、手厳しいものばかりでしたが、それらは発表をより良くするための注意であり、私たちにも分かりやすい改



善点でした。特に記憶に残っているのは、「メモを見ずに発表する」という事でした。やはり見ないで発表している班の発表は分かりやすく、聞き手にも伝わってきました。

泉北高校総合科学科2年は11月に課題研究の中間発表を行います。その発表の際、今回の発表の良い点を参考に、悪かった点は反面教師にして、より良い発表になるようにしたいです。

(サイエンス部 西村)

●第二部(午後)のポスター発表に参加して

今回、私たちは天王寺高校で開催されている生徒研究発表会(サイエンスデイ)に参加し、ポスター発表を行いました。サイエンスデイでは主にSSHに指定されている府内の高校の生徒が集い、理科や数学等に関する研究を発表するものです。私たちサイエンス部は駐輪場の側にあるビオトープ池のデータをまとめた「泉北高校ビオトープ池11年の変遷」という題名で発表しました。何人もポスター発表を聞きにきて下さり、なかには熱心に質問をされる方もいて、こちらとしても説明や応答に熱が入りました。去年に引き続き、会場には熱気が溢れ、質問や発表の声が飛び交っており、みなさんととても熱心でした。また、いくつかの企業も参加しており、年々この発表会の規模が大きくなっているように感じます。今回、私は去年に引き続き2回目の発表で、貴重な体験になりましたが、やはり発表は難しいものだと感じました。(サイエンス部 田中)

